

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公開番号】特開2005-142658(P2005-142658A)

【公開日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-021

【出願番号】特願2003-374601(P2003-374601)

【国際特許分類】

<i>H 01 Q</i>	<i>1/22</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>1/32</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>1/48</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>3/24</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>9/38</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>H 01 Q</i>	<i>1/22</i>	A
<i>H 01 Q</i>	<i>1/32</i>	Z
<i>H 01 Q</i>	<i>1/48</i>	
<i>H 01 Q</i>	<i>3/24</i>	
<i>H 01 Q</i>	<i>9/38</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月20日(2006.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車室に回転自在に取り付けられる支持軸と、
前記支持軸に形成された回動軸と、
前記回動軸により天井側に回動した位置から光遮蔽位置に回動することができるサンバイザ本体と、
前記サンバイザ本体に形成した放射素子とを備え、

前記サンバイザ本体は、電波透過部材からなる第1の光遮蔽部と電波反射部材からなる第2の光遮蔽部とを備えることを特徴とする車両用アンテナ装置。

【請求項2】

前記第2の光遮蔽部は、前記放射素子に対してグランドとして動作することを特徴とする請求項1に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項3】

前記支持軸は、その内部を中空に形成した中空部を備え、前記放射素子は、前記中空部を通して前記サンバイザ本体内に導入された給電部材により給電されることを特徴とする請求項1または2に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項4】

前記支持軸あるいは前記回動軸は、前記放射素子と高周波的に接続される給電部材を備えることを特徴とする請求項1または2に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項5】

前記サンバイザ本体は、前記放射素子と接続される送受信機回路およびアンテナマッチング回路のうち少なくとも1種類の電子回路を構成する回路基板を備えることを特徴とす

る請求項1または2に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項6】

前記放射素子は、複数のサンバイザ本体部にそれぞれ設けられ、前記放射素子は、それぞれ受信部を備え、前記受信部での受信状態が最良の受信状態となるように前記アンテナを切り替えながら電波を受信する受信制御部を備えることを特徴とする請求項1または2に記載の車両用アンテナ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、上記目的を達成するため、車室に回転自在に取り付けられる支持軸と、前記支持軸に形成された回動軸と、前記回動軸により天井側に回動した位置から光遮蔽位置に回動することができるサンバイザ本体と、前記サンバイザ本体に形成した放射素子とを備え、前記サンバイザ本体は、電波透過部材からなる第1の光遮蔽部と電波反射部材からなる第2の光遮蔽部とを備えることを特徴とする車両用アンテナ装置を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記第2の光遮蔽部は、前記放射素子に対してグランドとして動作することが好ましい
。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】